

鳥取県の推計人口（年報）

【令和4年10月～令和5年9月】

鳥取県人口移動調査において、1年間（令和4年10月～令和5年9月）の状況を下記のとおり取りまとめました。

記

1 鳥取県の推計人口

鳥取県の推計人口は537,318人、318人で、前年に比べ6,297人減少し、平成8年以降28年連続の減少となった。

令和5年10月1日現在の推計人口は537,318人で、前年に比べ6,297人減少し、世帯数は221,780世帯で、前年に比べ132世帯増加した。

年	人口（人）			人口性比 （男性/女性）×100	世帯数（世帯）	1世帯当たりの 人員（人）
	総数	男	女			
令和5年(a)	537,318	257,165	280,153	91.8	221,780	2.42
令和4年(b)	543,615	260,026	283,589	91.7	221,648	2.45
対前年差(a-b)	-6,297	-2,861	-3,436	0.1	132	-0.03

老年人口は741人減少し、平成23年以来12年ぶりの減少となった。
年齢3区分別の構成割合は、年少人口は12.2%、生産年齢人口は54.3%で、ともに過去最低、老年人口は33.5%で過去最高となった。

年齢3区分別の人口を前年と比べると、年少人口は1,543人減少、生産年齢人口は4,013人減少し、老年人口は741人減少した。

区分	人口（人）	構成割合（%）	対前年増減（人、ポイント）	
年少人口（0～14歳）	64,380	12.2	-1,543	-0.1
生産年齢人口（15～64歳）	287,495	54.3	-4,013	-0.1
老年人口（65歳以上）	177,414	33.5	-741	0.2
うち75歳以上	96,709	18.3	2,808	0.8

2 人口動態

1年間の人口動態は、自然増減は4,919人減少、社会増減は1,378人減少し、人口増減の減少幅は前年に比べ1,350人拡大した。

人口増減では、自然増減は4,919人の減少、社会増減は1,378人の減少、合計6,297人の減少となり、人口増減の減少幅は前年に比べ1,350人拡大した。

(単位:人)

区分	人口増減	自然増減			社会増減	社会増減	
		自然増減	出生	死亡		県外転入	県外転出
令和5年(a)	-6,297	-4,919	3,462	8,381	-1,378	9,612	10,990
令和4年(b)	-4,947	-4,155	3,736	7,891	-792	10,060	10,852
対前年差(a-b)	-1,350	-764	-274	490	-586	-448	138

注) 自然増減とは出生と死亡による人口の増減をいい、社会増減とは県外転入と県外転出による人口の増減をいう。

自然増減は、4,919人減少し、平成10年以降26年連続の減少となった。

出生数は3,462人で前年に比べ274人減少し、死亡数は8,381人で前年に比べ490人増加した。
死亡数は、平成2年ごろまでは5,000人前後で推移していたが、それ以降は増加傾向となり、平成15年からは6,000人台、平成25年からは7,000人台、令和5年は8,000人台となった。
自然増減は4,919人の減少となり、減少幅は前年に比べ764人拡大し、平成10年以降26年連続の減少となった。

社会増減は、1,378人減少し、平成13年以降23年連続の減少となった。

県外転入者数は9,612人で前年に比べ448人減少し、県外転出者数は10,990人で前年に比べ138人増加した。

社会増減は1,378人の減少となり、減少幅は前年に比べ586人拡大し、平成13年以降23年連続の減少となった。

3 市町村別推計人口

推計人口が最も多いのは鳥取市の184,132人、最も少ないのは江府町の2,425人

市町村別で推計人口が最も多いのは鳥取市の184,132人、次いで米子市の145,121人であり、最も少なかったのは江府町の2,425人、次いで若桜町の2,558人であった。

4 年齢3区分別人口

(1) 年少人口

前年と比べると、年少人口は岩美町で15人、日吉津村で12人増加し、その他の市町で減少、年少人口割合は4町村で上昇

年少人口は前年に比べ岩美町で15人、日吉津村で12人増加し、その他の市町で減少した。

年少人口割合は日吉津村の14.9%が最も高く、次いで湯梨浜町の14.2%であった。

前年と比べると、岩美町、日吉津村、伯耆町及び江府町で上昇し、北栄町及び日南町で同水準、鳥取市など13市町で低下した。

(2) 生産年齢人口

前年と比べると、生産年齢人口は日吉津村で40人増加し、その他の市町で減少、生産年齢人口割合は13市町で低下

生産年齢人口は前年に比べ日吉津村で40人増加し、その他の市町で減少した。

生産年齢人口割合は米子市の57.0%が最も高く、次いで鳥取市の56.8%であった。

前年と比べると、境港市、三朝町、湯梨浜町及び日吉津村で上昇し、米子市及び琴浦町で同水準、鳥取市など13市町で低下した。

(3) 高齢人口

前年と比べると、老年人口は北栄町で5人増加し、その他の市町村で減少、老年人口割合は16市町で上昇

老年人口は前年に比べ北栄町で5人増加し、その他の市町村で減少した。

老年人口割合は日南町の54.9%が最も高く、次いで若桜町及び日野町の52.6%であった。

前年と比べると、鳥取市など16市町で上昇し、岩美町及び三朝町で同水準、日吉津村で低下した。

5 市町村別人口動態

人口増減は日吉津村を除くすべての市町で減少

人口増減は、日吉津村で45人増加したが、その他の市町で減少した。最も減少したのは鳥取市の1,913人、次いで米子市の1,027人であった。

自然増減はすべての市町村で減少

自然増減は、すべての市町村で減少した。最も減少したのは鳥取市の1,358人、次いで米子市の823人であった。

社会増減は岩美町で1人、三朝町で1人、日吉津村で64人、南部町で35人増加し、その他の市町で減少

社会増減は、岩美町で1人、三朝町で1人、日吉津村で64人、南部町で35人増加し、その他の市町で減少した。最も減少したのは鳥取市の555人、次いで倉吉市の268人であった。

県外転入者で最も多いのは、島根県から米子市への656人、県外転出者で最も多いのは、米子市から島根県への607人

県外転入者は島根県から米子市への656人が最も多く、次いで外国から鳥取市への543人であった。

県外転出者は米子市から島根県への607人が最も多く、次いで鳥取市から大阪府への509人であった。

(単位:人)

都道府県	転入					転出				
	総数	鳥取市	米子市	琴浦町	その他	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他
外国	1,243	543	197	137	366	785	298	118	91	278
島根県	1,211	656	198	151	206	1,233	607	282	131	213
大阪府	869	315	241	62	251	1,257	509	333	107	308
兵庫県	825	385	228	49	163	1,042	501	236	65	240
岡山県	818	313	245	113	147	875	320	280	97	178
広島県	717	292	259	43	80	750	323	240	59	128
東京都	555	197	193	37	128	1,053	414	333	73	233

<参考> 外国人(国籍不詳を含む)の推計人口・人口動態

推計人口は10,217人で、前年に比べ501人増加した。

令和5年10月1日現在の推計人口(国籍不詳5,118人を含む。以下同じ。)は、10,217人で、前年に比べ501人増加した。男女別人口は、男性4,465人、女性5,752人であった。

市町村別の推計人口は、米子市の4,240人(男性1,803人、女性2,437人)が最も多く、次いで鳥取市の3,538人(男性1,786人、女性1,752人)であった。

県外転入者数は1,775人、県外転出者数は1,274人で、転入超過数は501人

自然動態をみると、出生数は15人(男性10人、女性5人)、死亡数は15人(男性6人、女性9人)であった。

社会動態をみると、県外転入者数は1,775人(男性789人、女性986人)、県外転出者数は1,274人(男性583人、女性691人)で、転入超過数は501人(男性206人、女性295人)であった。

市町村別の県外転入者数は、鳥取市の642人(男性324人、女性318人)が最も多く、次いで米子市の374人(男性178人、女性196人)であった。県外転出者数は、鳥取市の480人(男性217人、女性263人)が最も多く、次いで米子市の272人(男性135人、女性137人)であった。